

2020年11月25日
APTJ株式会社

APTJが開発・販売を進める「Julinar」が、日産の新型「ローグ」のEPSに採用

【発表内容】

APTJ株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役会長 兼 社長:高田広章、以下APTJ)が開発・販売中のAUTOSAR準拠のソフトウェアプラットフォーム「Julinar」*1が、株式会社ジェイテクト(本社:名古屋市中村区 取締役社長:佐藤和弘)が開発するEPS*2に採用されました。

このEPSは、日産自動車株式会社の北米向け新型「ローグ」*3に搭載され、2020年10月に販売開始されました。

EPSは、走る・曲がる・止まるといった車両の基本機能のうち、「曲がる」を受け持つ重要なシステムです。そのためにEPSには、高い安全性と、信頼性が必要とされます。

当該EPSに搭載したソフトウェアの開発においては、ジェイテクトの持つ機能安全とAPTJの持つソフトウェアプラットフォームの知見の強みを生かし、両社が密に連携しながら、開発に取り組みました。

その結果として、高い安全要求に対応し、且つ、他モジュールとの円滑な結合やオーバーヘッド時間の短縮化など、実装上の課題を効率的に解決し、製品化を実現しました。

APTJは、国内外の自動車メーカーと自動車部品メーカーなどに対し、今後も継続的に高い安全性と信頼性を実現するソフトウェアプラットフォームを提供していきます。

*1 Julinar®:APTJの登録商標



*2 EPS: Electric Power Steering の略、電動パワーステアリング

*3 日産自動車株式会社 新型「ローグ」



* 記載された会社および商品名等は、各社の商標または登録商標です。

【APTJについて】

APTJ 株式会社 (APTJ) は、名古屋大学の研究開発成果を活用して、車載制御システム向けのソフトウェアプラットフォーム (SPF) を開発・販売する大学発のベンチャー企業です。APTJ の代表取締役会長兼社長兼 CTO には、名古屋大学大学院情報学研究科附属組み込みシステム研究センター (NCES) センター長／教授の高田広章が就任しています。

APTJ が開発する SPF は、最新の AUTOSAR 仕様をベースとしつつ、名古屋大学の研究開発成果や知見を活用した先端的な機能や実装技術により、機能安全規格、サイバーセキュリティ対策、マルチコアプロセッサに効率的に対応できることを技術的な特徴とします。この SPF を活用することで、安全で品質の高い車載組み込みソフトウェアの開発が効率化され、自動車部品メーカーの競争力向上につながります。詳細については、APTJ のサイト (<https://www.apjt.co.jp/>) をご覧ください。

【お問い合わせ先】

本発表に関するお問い合わせは、以下にお願いします。

APTJ 株式会社 営業サポート部 広報担当: 松原
〒453-6122 名古屋市中村区平池町四丁目 60 番地 12
グローバルゲート 22 階
Phone: 052-564-5535 FAX: 052-564-5536
Email: info@apjt.co.jp